

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
21・4・14(水)
南NEWS no 9

マナカちゃん・シンヤ君 浦和でも楽しくGAMBA！！

3年生のマナカちゃんと5年生のシンヤ君が4月11日(日)に埼玉県浦和に転居しました。二人のお父さんは、かつて八王子で一時代を築いた桑の実少年サッカークラブの出身で、成人してからは国境なき医師団の一員として中村哲さんとアフガニスタンやパキスタンの人々のために活動した方です。親子2代のサッカー。マナカちゃんは男の子に負けず積極的にドリブルをしてボールをよく追いかけていました。お兄ちゃんのシンヤ君は渡り廊下でのワンツ一突破、右サイドバックでビルドアップ、オーバーラップの攻撃にチャレンジしていました。いつもにこにこ、二人の明るい性格はチームのムードメーカーでとても良い影響をもたらしていました。「浦和はサッカーのメッカだから楽しんでね」と話しました。 by 南の安版万



シンヤ君とその仲間達



2000年シドニー五輪 水泳銅メダリスト 田中 雅美さんのコメント

病を克服して、競泳日本選手権女子100M バタフライで五輪代表の切符を獲得した池江 璃花子選手へのコメントです。

……努力と格闘の跡が体つきに表れていました。泳ぎながらつく水泳独特の筋肉を腕や背中にまとっていました。脚や体幹はまだ細めだけど、着実にトップスイマーとしての姿が戻ってきていました。

懸命に練習を積んだ自分への期待と、大事な一本のレースにそれを表現できるかどうかという不安……。そのはざまスタート台に立ち、見事に大一番で自分に打ち勝ちました。

突然の病から2年余りでの快挙です。彼女の強さの秘訣は、本来持っている「挑戦することを楽しむ」姿勢にあります。闘病や復帰の過程の苦しみのなかで、その思いを貫きました。

そしてレースを重ねるたびに、泳げる喜びに加えて勝負師の顔が戻ってきています。楽しさと負けず嫌い。この二つが驚異的な復活の原動力だったのだと思います。

璃花子ちゃんは才能以上に大切なものを見せてくれています。それは、困難や試練に向き合う勇気です。

今後、周囲からの重圧がさらにのしかかるかもしれません。それでも「楽しむ」という原点を忘れず、その時の最高の自分を出し切れる状態で、大舞台のスタート台に立ってほしいと思います。



読み聴かせ

4月11日(日) 鐘水小

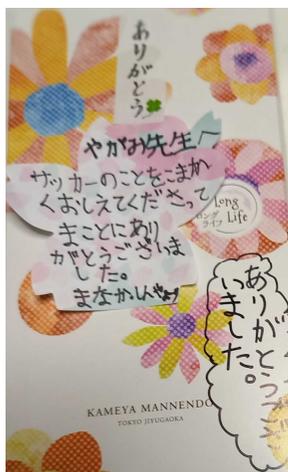
春季カップ戦 v s 大和田戦の後、1年生のみんなに絵本の読み聴かせをしました。尾川コーチが後審判で主審をしてくださっている時間でした。

『ともだちくるかな』内田麟太郎作・降矢なな絵の読み聴かせでした。オオカミとキツネの友情の物語です。みんなしっかり見て聴いていました。

10巻のシリーズです。次は何か？



4月10日(土) 由井三小 校庭
シンヤ君思い出のPK
仲間達とエールの交換 龍平コーチ 撮影



矢上は生まれも育ちも埼玉の川口です。小・中・高と学校は川口でした。

中学校の3年生の春、県大会準決勝は児玉のチームに6-0で勝ったのですが、決勝は浦和の木崎中学に0-3で敗れました。相手には日本代表になる俊足の近江選手がいて、左サイドを突破されて敗れたのです。

高校でも打倒浦和の毎日でした。高校総体県大会予選準々決勝名門浦和南に1-1で延長。その前半、矢上のWタッチの突破で左サイドからのクロスで勝ち越し、3点目を同じ形で得点しベスト4進出。準決勝で児玉高校に0-4で敗戦。3決は浦和高校と対戦。結果は1-1。何故か延長もなく抽選。抽選で破れて関東大会出場を逃しました。浦高は関東大会3位に入りました。浦高には小・中と同級生だった浅倉君。中学校では右のウイングでCFの私にクロスを入れてくれた浅倉君がいたのです。

そんなことで、マナカちゃんとシンヤ君の埼玉浦和への転居も何か縁を感じます。GAMBAってね！！

